

東京国立 博物館 ニュース



3ページに
掲載してるほ!



特別展 Information

- 「マルセル・デュシャンと日本美術」
- 「京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ」
- 「顔真卿 王羲之を超えた名筆」
- 「江戸絵画名品展」／「縄文——日本における美の誕生」…… 2
- 「???? デュシャンと日本美術で考えよう」…… 4
- 「マルセル・デュシャンと日本美術」とあわせて見たい! 本館の作品…… 5
- 「中国近代絵画の巨匠 齊白石」
- 「はじめての博物館——子どもと一緒に博物館へ行こう!」…… 6

総合文化展 Pickup! (本館/東洋館/平成館/黒田記念館) …… 7、11
 保存と修理情報 ④ …… 9 / みどりのライオン (教育普及事業) …… 12、13 / トーハクくんのなるほトーハク …… 13
 イベント&インフォメーション …… 14、15 / 2018年10-11月の展示・催し物 …… 16

今号の名品

「重文 四代目岩井半四郎の重の井」

特別展

「京都 大報恩寺
快慶・定慶のみほとけ」

秘仏本尊、トーハクで寺外初公開！

10月2日(火)

12月9日(日)

平成館
特別展示室
3室・4室

釈迦の弟子のなかでも、とくに優れた十人を取りあげて「十大弟子」と呼びます。釈迦と十大弟子を礼拝対象として造形化した作例はそう多くはありません。そのなかで大報恩寺の釈迦如来坐像と十大弟子立像は、釈迦信仰が盛んになった鎌倉時代前期の代表的な作例の一つとして知られています。

本来、大報恩寺の釈迦如来坐像と十大弟子立像は、国宝本堂の須弥壇上にそろうて安置されていましたが、現在、十大弟子立像のみ霊宝殿に移されています。本展示会の会場では、両者が同じ空間で久しぶりにめぐり合う貴重な機会となります。ぜひこの機会にご覧ください。(皿井舞)



左右：◎十大弟子立像 快慶作 鎌倉時代・13世紀 京都・大報恩寺蔵
中央：◎釈迦如来坐像 行快作 鎌倉時代・13世紀 京都・大報恩寺蔵

釈迦如来坐像ととりまく十大弟子立像。会場ディスプレイも工夫を凝らします。どうぞお楽しみに

観覧料：一般1,400円(1,200円)、大学生1,000円(800円)、高校生800円(600円) * ()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) / お問合せ: 03-5777-8600 (ハローダイヤル) / 展示会公式サイト <https://artexhibition.jp/kaikai-jokei2018/>

海外展

「江戸絵画名品展」

日本の名品、ロシアへ

9月4日(火) ▶ 10月28日(日) プーシキン美術館

本年度が「ロシアにおける日本年」の開催にあたることから、文化庁との共催により、モスクワのプーシキン美術館において特別展を開催します。日本からは、国宝2件、重要文化財9件を含む116件が出品され、そのうち73件が当館の作品です。これにロシア所在の作品を加えた135件の江戸絵画と版画が展示されます。(田沢裕賀)



◎鷹見泉石像 渡辺華山筆
江戸時代 天保8年(1837)
開国をめぐる動乱期、西洋と東洋の絵画表現を融合させた肖像画

海外展

「縄文—日本における美の誕生」

遮光器土偶、フランスへ

10月17日(水) ▶ 12月8日(土) パリ日本文化会館

日仏友好160周年を記念し、日本文化を紹介する企画「ジャポニスム2018」がパリを中心に開催されています。この機会にあわせて行われるのが「縄文—日本における美の誕生」です。かつて日本の芸術に造詣の深いフランス人に新鮮な驚きを与え、多くの人々を魅了した「JOMON」が、再び日本文化の代表としてパリの地へ出かけます。(品川欣也)



◎遮光器土偶
縄文時代(晩期) 前1000~前400年
青森県つがる市木造亀ヶ岡出土
縄文文化を代表する土偶といえ、遮光器土偶は絶対外せない

東京国立博物館・フィラデルフィア美術館交流企画特別展

「マルセル・デュシャン
と日本美術」

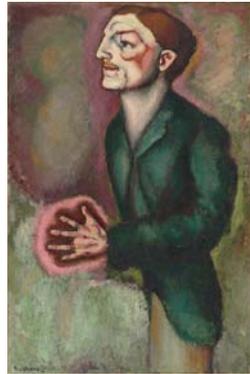
「リアル」を超えて描く

10月2日(火)

12月9日(日)

平成館
特別展示室
1室・2室

現代美術に革命的な影響を与えたマルセル・デュシャン(1887~1968)は画家として芸術活動をはじめます。デュシャンの肖像画は、対象の人物を目に見えたまま忠実に写し取ろうとしたものでないのは明らかです。その意図するところを詳らかにすることは難しいですが、浮世絵でみるように日本の絵は、もともと絵記号のように図式化されたかたちで人物を描いていたので、その表現が「写實的」でないことが、デュシャンと相近しいものといえるかも知れません。(松嶋雅人)



デュムシエル博士の肖像

マルセル・デュシャン 1910年 フィラデルフィア美術館蔵

友人レーモン・デュムシエルを描いた肖像画。手の周りはピンクで強調されていますが、デュシャンはどんな意図があったのでしょうか?

Philadelphia Museum of Art: The Louise and Walter Arensberg Collection, 1950 © Association Marcel Duchamp / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2018 G148

観覧料：一般1,200円(1,000円/900円)、大学生900円(700円/600円)、高校生700円(500円/400円) * ()内は前売/20名以上の団体料金、中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) / お問合せ: 03-5777-8600(ハローダイヤル) / 展示会公式サイト <http://www.duchamp2018.jp/>

特別展

「顔真卿 王羲之を超えた名筆」

千年の時を超え、激情の書が初来日!

2019年

1月16日(火)

2月24日(日)

平成館
特別展示室

顔真卿は、顔法と称される特異な筆法を創出し、後世に大きな影響を与えた人物です。また、天寶14年(755)の安史の乱で危機に陥った唐王朝を救った忠臣でもあります。その顔真卿の数少ない肉筆である、台北 國立故宮博物院所蔵の祭姪文稿が初来日します。祭姪文稿は、安史の乱で非業の死を遂げた親族を悼んだ祭文で、義憤と悲痛の念が紙面に満ち溢れています。書聖・王羲之の蘭亭序に比肩すると絶賛される日本初公開の天下の劇跡をご堪能ください。(富田淳)



観覧料：一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円) * ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) *前売券は10月17日(水)~2019年1月15日(火)、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ。閉館の30分前まで)、展示会公式サイト、主要プレイガイドほかにて販売 / お問合せ: 03-5777-8600 (ハローダイヤル) / 展示会公式サイト <https://ganshinkei.jp/>

関連イベント

①席上揮毫&トーク

「古典を受け継ぐ現代の書

一世代をつなぐ筆墨の美—」

日時: 2019年1月27日(日) 14:00~15:00

出演者: 仲川恭司、鬼頭嵐峰、石飛博光

②記念講演会

「顔真卿 王羲之を超えた名筆」

日時: 2019年2月9日(土) 13:30~15:00

講師: 富田淳(学芸企画部長)

会場: 平成館大講堂

定員: 380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

聴講料: 無料(ただし本展示会の観覧券が必要。使用済みの半券でも可。)

申込方法: 往復はがきの「往信用裏面」に、(1)参加者全員(2名までの氏名・ふりがな、(2)代表者の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号を、「返信用裏面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記までお申し込みください。

申込先: 〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 赤坂レジデンシャル770 ミュース・ヒール内「顔真卿展」イベント(①②いずれか) 係

申込締切: ①11月26日(月) 必着 ②12月11日(火) 必着

①・②ともに開場は30分前。

*詳細は公式サイト参照。 <https://ganshinkei.jp/>

祭姪文稿 顔真卿筆 唐代・乾元元年(758)

台北 國立故宮博物院蔵

書き進むうちに慟哭の情が高まり、すさまじいオーラが出ています

今号の名品

2018年10-11月号

重文 四代目岩井半四郎の重の井

11月20日(火)～12月9日(日)

平成館 特別第2室

(特別展「マルセル・デュシャンと日本美術」)

役者の真髓を描こうとした、写楽のまなざし

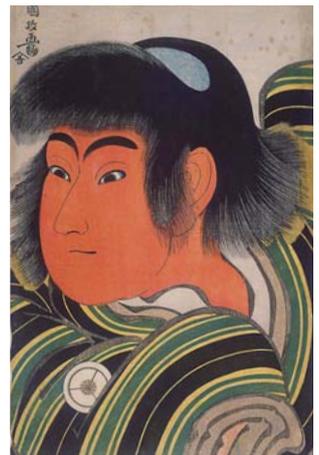


四代目岩井半四郎の重の井 東洲斎写楽筆 江戸時代・寛政6年(1794)

この絵は、寛政6年(1794)5月に江戸の河原崎座で上演された「恋女房染分手綱」の一場面で女主人公重の井の大首絵です。この演目は丹波国由留木家の家臣、伊達与作と重の井との不義の恋にまつわる悲劇が描かれます。重の井は与作と密通して子を設けますが、父竹村定之進がその罪を被って切腹したことに主君は感じ入り、息女調姫の乳人として召し抱えました。与作との子は重の井の手を離れ育ちます。本図は姫の興入れの道中に宿場で我が子三吉と体面する場面で、母の名乗りをせずに重の井は立ち去るのです。絵か

らは乳人として奥につとめる凛とした気品まで見てとれます。重の井を演じた岩井半四郎は当時人気の女形で、丸顔が特徴的で「お多福半四郎」と呼ばれていました。写楽はこの舞台を生で見たように、劇的な母子の邂逅を描き出しています。しかし写楽は役者の素顔をありのままに描いたために、あまり評判を得られなかったことが当時の記録で知られています。しかし現代の私たちには、臨場感さえ感じられるかも知れません。当時は歌川国政の描いた半四郎のように、役者の顔つきや目鼻の特徴を強調

して、図式化するように描いたものがスタンダードな表現であり、好まれたようです。つまり現実の姿形を絵に忠実に再現することは、当時の人々が望んだものではなかったの



四代目岩井半四郎の金太郎 歌川国政筆 江戸時代・寛政8年(1796) 展示期間:11月20日(火)～12月9日(日) 丸顔と丸い眉、目を強調して愛嬌を振りまく

です。ふつくらとした顔やうげ口、鋭い目力などの特徴は活かしながらも理想化した絵を見て、人々は人気役者に思い焦がれたのでしよう。(松嶋雅人)

『東京国立博物館 ニュース』
 名品スタンプ

★設置場所：本館インフォメーション
 ★設置期間：10月2日(火)～11月30日(金)
 ＊記念品付きの名品スタンプラリーは終了しました。

来館の記念にどうぞ!

ユリノキちゃん
 東京国立博物館
 公式キャラクター

トイハクくん
 東京国立博物館
 公式キャラクター

デュシャンと 術で考えよう



開催中の特別展「マルセル・デュシャンと日本美術」は2部構成。平成館の特別第1室ではマルセル・デュシャン(1887-1968)の人生と作品をたどり、第2室では、デュシャン作品を意識した5つの視点で日本美術を紹介しています。デュシャンを見てから日本美術をみると、見慣れた日本の古美術に新たな発見があるかも? 見るのではなく考える—「?」を生む展覧会の会場をご案内します。

マルセル・デュシャン 没後50年記念 第1部 デュシャン 人と作品

フィラデルフィア美術館所蔵のデュシャン・コレクションより、フランスおよび米国での彼の人生、彼の多様な人となり、さらに、芸術と生活の垣根をなくそうとするさまざまな試みを紹介します。

デュシャンさんは謎がいっぱいで不思議な人ね



んふふふ

既製品がアート?

第2章 「芸術」でないような作品をつくる ことができようか 1912-1917

1912年秋、デュシャンは絵画制作をやめ、日用品を本来の用途から切り離して、芸術作品として意味づける「レディメイド」を制作、これにより芸術の創造についてのルールを変えました。第2章では、パリからニューヨークに移住後制作を始めた《大ガラス》の複製とレディメイド作品などにより、デュシャンの制作意図と作品の意味を考えます。

最初は普通? に画家だった

第1章 画家としてのデュシャン 1902-1912

デュシャンは、1887年フランスで生まれ、15歳の時にはじめて油彩画を制作しました。その後印象派など当時のフランスで起こった新しい芸術運動に取り組みます。第1章では、油彩画を中心に彼の幼少期や故郷の風景写真などから「画家」デュシャンを紹介します。



階段を下りる裸体 No. 2
マルセル・デュシャン 1912年
キュビズム絵画、数学の概念、動きを表した写真をヒントに、階段を下りる人の動きを表現



入口

チェスに女装、携帯ミニチュア美術館?

第3章 ローズ・セラヴィ 1920s-40s

1920年代初め、デュシャンは芸術家をやめてチェスに没頭する一方、「ローズ・セラヴィ」と名付けた女性の別人格を用いて、ダジャレや語呂遊びなどの言葉の実験を試みています。

1930年代には《トランクの中の箱》(1935~41)として知られる自身の作品のミニチュアからなる「携帯用の美術館」をつくりました。



ローズ・セラヴィとしてのデュシャン
マン・レイ 1921年

いつの間につくっていたのか?

第4章 《遺作》欲望の女 1950s-60s

《与えられたとせよ 1. 落ちる水 2. 照明用ガス》(通称《遺作》)は、デュシャンが20年以上ひそかにニューヨークのアトリエで制作していた作品です。死後見つかったメモを元に組み立てたものが現在フィラデルフィア美術館に常設されています。会場では、《遺作》を映像で紹介するとともに、制作についてのメモ類、作品の一部となったオブジェなどから、彼の最後の作品の制作状況に迫ります。

第2部へ

第1章 400年前の レディメイド

デュシャンは「一点限り」の作品の価値を否定しました。千利休は、名工の作品ではなく傍らの竹を花入として床に飾り、ありふれたものから生み出される美を明確に示したのです。



竹一重切花入 銘 園城寺
伝千利休作 安土桃山時代・天正18年(1590) 松平直亮氏寄贈
真竹の二節を残し、一重の切れ込みを入れた簡潔な作

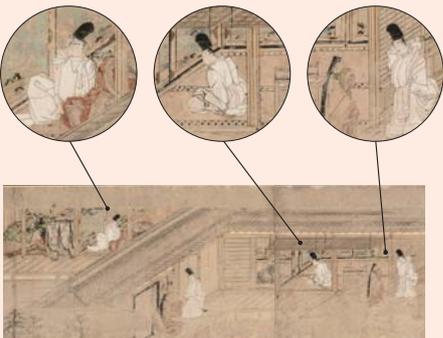
第2部 デュシャンの向こうに日本がみえる。

日本の古美術でも、時代が進むにつれて新たな表現方法や発想の転換がみられます。その革新性を、第1部でみたデュシャンの考え・作品と比べて考えてみましょう。

ほほーい



さて、次は日本美術や



すみよしものがり え 室書
◎住吉物語絵巻 鎌倉時代・13世紀 (部分)
【展示期間】10月30日~11月18日
中將が姫君を訪ね部屋の奥に進んで再会を果たす

第4章 オリジナルと コピー

一般に、芸術作品とは作者が独自に考え抜いて作り上げた「一点」(オリジナル)とされますが、デュシャンはまさにそれに疑問を呈しました。しかし、狩野派をはじめ近世以前の日本の絵師たちは前例ののっとり、「模倣(コピー)」を繰り返して多くの絵画を制作したのです。



りゅうぞ
(右)龍図 俵屋宗達筆 江戸時代・17世紀
【展示期間】10月30日~12月9日
りゅうぞ
(左)龍図 狩野探幽筆 江戸時代・17世紀
【展示期間】10月30日~12月9日
同じ画題、構図でも、時代の変遷や個々の画家によって、その表現には差が生まれる

第5章 書という「芸術」

書は、東洋において造形の最上位におかれまして。デュシャンは概念を図像や造形で表現しましたが、日本では、書は絵画や工芸などと融合し、さまざまな形態の美を生み出しました。



ふなばしきえ 千利休
◎舟橋時絵視箱
本阿弥光悦作 江戸時代・17世紀
和歌の文字を散らしたデザインは、文字の形そのものが生かされている

出口

特別展「マルセル・デュシャンと日本美術」と

あわせて見たい! 本館の作品

特別展「マルセル・デュシャンと日本美術」を見たあとは、日本美術の見方が広がって、鑑賞がもっと楽しくなるかも?! あわせてご覧いただきたい本館のおすすめの作品を紹介します。

本館4室 茶の美術



樂家歴代随一の 名工の創意

くろらくちやわん
黒楽茶碗 道入作
江戸時代・17世紀 広田松繁氏寄贈
展示期間:~12月9日(日)

道入は樂家第三代。作為を極限まで削ぎ落すことにより革命を起こした長次郎の黒楽茶碗に対して、道入は樂茶碗に軽やかに斬新な装飾性を取り入れました。口縁から胴にかけてどろりと厚く掛かった光沢のある幕軸に、道入の作風の特色がよくあらわれています。

本館10室 浮世絵と衣裳—江戸

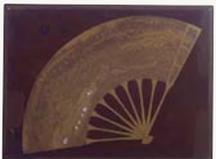


役柄をリアルに描き出す 写楽の代表作

さんたいめ きわむらそうしゅうろう おおきしくらんど
◎三代目沢村宗十郎の大岸藏人
東洲斎写楽筆
江戸時代・寛政6年(1794)
展示期間:10月23日(火)~11月18日(日)

寛政6年(1794)5月、写楽デビュー時に出版された大首絵28図のうちの1図。三代目宗十郎は、この時42歳。「人品男振よく」と評され、『仮名手本忠臣蔵』の大星由良之助のような思慮分別に富んだ捌き役を得意としました。本館も役柄通りの貫録を感じさせます。

本館12室 漆工



(蓋表)



『葦手』の意匠にご注目

せんめんしおのやままき えりょう しほこ
扇面 塩山蔭絵料紙箱 室町時代・15世紀
展示期間:10月2日(火)~12月25日(火)

蓋表に、浜松に千鳥の図が描かれた扇面が大きく表わされています。よく見ると、画中に「志本乃・佐之て・のいそ・君之」の文字が散らされており、『古今和歌集』巻七の賀歌「しおのやま さしでの磯に住む千鳥 君が御代をば八千代とぞなく」による意匠であることがわかります。

本館8室 書画の展開



能書家の光悦による美の表現

きんぎんでい えうたままきもの
金銀泥絵歌巻物 本阿弥光悦筆 江戸時代・17世紀
展示期間:10月30日(火)~12月9日(日)

厚手の紙の両面に金銀の箔を散らし、さらに金銀泥で装飾的な植物の絵を描いた上、紙と調和した流麗な筆跡で『新古今和歌集』の和歌を書いた作品。後に「光悦流」と呼ばれるようになった、江戸時代前期を代表する書風です。

JAPAN DUCHAMP

フィラデルフィア
聖地から
やってくる!

??? デ 日本美

マルセル・デュシャンって誰?

マルセル・デュシャン
(1887-1968 アメリカ、フランス生まれ)



《泉》のレプリカの横に座るデュシャン
1965年

20世紀美術に多大な影響を残した美術家でチェスの名手でもありました。目に見えるものを表現する絵画を「網膜的」として否定するなど、芸術への考えを大きく転換しました。

聖地・フィラデルフィア美術館って どんなところ?



アメリカ東海岸にある大規模な美術館で、フィラデルフィア万博(1876)をきっかけに創立されました。印象派などの西洋近代美術、日本を含むアジア美術、そしてデュシャンなど20世紀美術を軸に豊富な収蔵品約24万点を誇ります。



フィラデルフィア美術館外観
本館正面玄関に続く大階段は、映画「ロッキー」に登場することから「ロッキー・ステップ」として親しまれる

Photo Courtesy of the Philadelphia Museum of Art.

世界随一☆フィラデルフィア美術館の デュシャン・コレクション

デュシャンの絵画、彫刻、版画など200件以上の作品に加え、写真、直筆のメモなど42,500件以上の関連資料を所蔵。彼の代表作である《大ガラス》と《遺作》はともに同館に常設展示されています。

展覧会公式キャラクター

いわきりなおと × 東京国立博物館
デュシャンしゃんと利Qはん

Web漫画「おしえて! 北斎」などで人気のいわきりなおとさんによる、本展公式キャラクターが生まれました。



デュシャンしゃん
20世紀の画家がパンダに転生。パイプは離さない



利Qはん
桃山時代の茶人がパンダに転生。クールでいつも無表情

1: Philadelphia Museum of Art. The Louise and Walter Arensberg Collection, 1950 © Association Marcel Duchamp / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2018 G1350 2: Philadelphia Museum of Art. Gift of Jacqueline, Paul and Peter Matisse in memory of their mother Alexina Duchamp 13-1972-9 © MAN RAY TRUST / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2018 G1414 3: Philadelphia Museum of Art, Library and Archives: Gift of Jacqueline, Paul and Peter Matisse in memory of their mother Alexina Duchamp 13-1972-9

彼女の独身者たちによって裸にされた花嫁、さえも
(通称《大ガラス》)(東京版)
監修:瀧口修造、東野芳明 1980
(複製/オリジナル:マルセル・デュシャン 1915~1923)
東京大学駒場博物館蔵
デュシャンの死後制作され、妻アレクシーナが認めた複製。

ロトレーフ(光学円盤)
展示コーナー:
遠近法や視覚に関する
研究が基となっている

見てると
ぐるぐる目が
回るほー



第2章 日本の リアリズム

江戸時代の浮世絵師・写楽は、日本の伝統的な絵の描き方を学ばなかったため、歌舞伎役者を見たまに描こうとして非難されました。(→3ページ)

第3章 日本の時間 の進み方

デュシャンの作品には一定の「時間」の動きを表したものがあります。日本の絵巻物に使われた「異時同図」という描写方法では、同じ風景や建物のなかに、同一人物が何度も登場して、時間や物語の経過を表します。

日中平和友好条約締結40周年記念
特別企画

中国近代絵画の巨匠 齊白石

東洋館 8室
10月30日(火)
12月25日(火)

得意なモチーフは鶏とひよこ

菊の黄色と緑に、鶏の赤がよく映えています。水墨による、ちぎり絵のようなひよこのかわいらしさも見どころです。



菊花群鶏図
齊白石筆 中国・北京画院蔵 後期展示

光る観察眼、虫へのこだわり

昆虫観察に熱中していた齊白石は、そのスケッチを大量に制作し、触覚や羽の質感まで詳細に写しています。



工虫画冊(第一図) 1949年
齊白石筆 中国・北京画院蔵 前期展示

中国で最も愛されている画家・齊白石



齊白石は湖南省湘潭の貧しい家に生まれ、大工や指物師をしながら絵画の勉強をし、のちに北京に出て成功しました。華やかな彩色と力強い筆線、自在な水墨技法を特徴とし、書家・篆刻家としても高い評価を得ています。

齊白石(1864~1957)は、現代中国で最も有名かつ人気のある画家です。近代以降の中国で最も古い美術アカデミーである北京画院の初代名誉院長を務めました。本展は、その北京画院所蔵の齊白石の名品が日本で初めて公開される貴重な機会です。「人民芸術家」として愛された巨匠の魅力に迫ります。(植松瑞希)

*会期中展示替えを行います。
前期：10月30日(火)~11月25日(日)
後期：11月27日(火)~12月25日(火)
*関連イベント：ギャラリートーク
11月9日(金)分→12ページ
12月11日(火)分→次号12ページ

はじめての博物館

— 子どもと一緒に博物館に行こう! —

横浜市在住の方からこんなお便りをいただきました。



「4歳と2歳の子どもを連れて博物館に行きたいと思っています。静かにしてもらえず、周りの方にご迷惑をかけてしまわないかと不安です。」

昨年度、総合文化展には約100万人のお客様にご来館いただきました。その中で、小・中高生の入館者数は5年前より約2倍に増加しています。キッズデー開催日には、小学生以下の子どもたちにも1日1000人以上お越しいただき、年々増えてきています。しかし、お便りのように小さなお子様と一緒に展示を見ることに不安をお持ちの方もいるのではないのでしょうか。そこで、一緒に楽しめるコツをご紹介します。



子どもと楽しく鑑賞するコツ

大人も一緒に楽しく作品を見るのが一番です。じっくり見て、感じたことや気づいたことを子どもとお話してみてください。「どれが好き?」、「おうちにひとつ飾れるならどれがいいかな?」などの問いかけも、子どもが作品を身近に感じるにつながります。また、博物館は「ほかの人と一緒に見る」ことを学べる場所です。「ゆっくり静かに見たい人もいるね」

とまわりを見て一緒に確認してみてください。しかし、飽きてしまうこともあります。長い時間、静かな展示室にいることは、子どもにとっても大きなチャレンジです。疲れてしまったら休憩スペースに移動して、気分転換をするのもおすすめです。授乳室もありますので、ご利用の際は案内スタッフにお声がけください。

博物館からのお願い

- ・展示室ではいそがず、ゆっくり歩こう。
- ・作品やガラスケースにはさわらないでね。
- ・メモはえんぴつでしてね。
インクの出るペンやシャープペンは使えませぬ。
- ・のどが渴いたり、おなかが空いたときは決められた場所で飲食しようね。
- ・おしゃべりは静かな声でね。
- ・展示室は暗いので大人の人と手をつないでね。



ユリノキちゃんの本にはなんでも書いてあるほー!



ワークショップやトーハクくん、ユリノキちゃんに会えることもあります

Pick up!

本館

キリシタン信仰に思いをはせる

特集 世界文化遺産登録記念
キリシタンの遺品

10月10日(水)～12月2日(日)

特別2室

キリストの遺骸を抱くマリアの絵や彫像をピエタ(イタリア語で敬虔という意味)と呼びます。板踏絵はキリシタンが持っていた銅製のレリーフを長崎奉行所が没収し、板にはめて作ったものです。10面あり、図柄はこのほかマリアが5面、キリストが4面です。キリシタンを取り締まるため奉行所から各地に貸し出されました。寛文9年(1669)には、数が足りなくなったため、真鍮で20面作られました。この特集は7月に世界遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」に深い関係のある遺品の展示です。(浅見龍介)



◎板踏絵キリスト像(ピエタ)
長崎奉行所旧蔵品 江戸時代・17世紀
銅製のレリーフを板にはめたものです

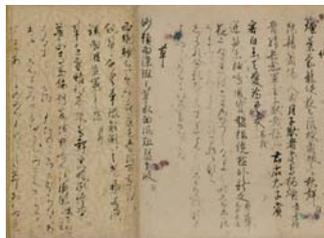
本館

美しい料紙に注目!

重文 和漢朗詠集
巻下(益田本)

10月30日(火)～12月9日(日)

3室 宮廷の美術



◎和漢朗詠集 巻下(益田本)
平安時代・11世紀
仮名の連綿が見事で、11世紀末頃の書写と推測されます

蠟箋や染紙、雲紙などの装飾料紙を正方形に近い形で継ぎ合わせて、『和漢朗詠集』の巻下を書写した卷子本です。益田鈍翁(孝、1848～1938)の旧蔵により「益田本」と名が付いています。当館の前身である帝室博物館の総長をつとめた股野藍田(琢、1839～1921)が所蔵していたため、「股野朗詠」とも呼ばれます。益田は、大正5年(1916)7月の茶会で本作を披露し、当時の雑誌「書苑」では、漢字よりも仮名が素晴らしいと評価されました。益田ほか近代数寄者に愛された流麗な仮名をお楽しみください。(恵美千鶴子)

本館

平安時代の様式を伝える調度

特集 京都御所
飛香舎(藤壺)の調度

10月2日(火)～12月25日(火)

14室

飛香舎は平安時代の内裏の後宮にあった宮殿で、別名を藤壺ともいいます。平安宮の内裏は、天徳4年(960)の焼亡以来、幾度も修理や造営が重ねられて、現代の京都御所に及んでいます。江戸末期に造営された京都御所は、紫宸殿や清凉殿などの主要な宮殿を平安後期の寝殿造という建築様式で再興した復古調内裏であり、室内に舗設する調度についても古式をふまえて製作されました。飛香舎についても儀式行事を行う場所に限って復古調で再興されています。この特集陳列では、京都御所の飛香舎で用いられていた調度を紹介します。(猪熊兼樹)



松喰鶴時絵螺鈿二階棚
江戸時代・19世紀
飛香舎の調度は寝殿造の調度をうかがいうる希少な実例です

本館

細部に宿る神秘的なデザイン

煙草入

10月30日(火)～2019年1月20日(日)

16室 アイヌの飾り

アイヌの人々の生活にとって煙草は欠かせないものでした。日常の嗜好品としてだけではなく神への祈りや病気をはらうための魔除けなど様々な場面で見られました。時には親睦を深めるためにタバコを交換し廻し呑みをしたともいいます。

今回ご紹介するのは煙草を携行するために用いた煙草入です。印籠型の煙草入と煙管差は、緒締で結ばれており、ぶら下げると蓋が閉まる仕組み。いずれも鹿角製飾板による象嵌や細やかな彫刻によって美しく装飾されています。アイヌの生活に息づく道具の美、ぜひご堪能ください。(飯田茂雄)



煙草入
樺太アイヌ 19世紀 徳川頼貞氏寄贈
棘を表すアイウシ文やモレウ文(渦巻)で丁寧に彫刻されています

東洋館

「大報恩寺」展の後は、
東洋館で工房の違いを見比べる

重文
如来三尊仏龕

通年

1室 中国の仏像



◎如来三尊仏龕
中国陝西省西安 宝慶寺 唐時代・8世紀
豊かな肉づけと薄い衣の表現がインドの
仏像に共通する特色です

中国の古都西安にある宝慶寺は、数多くの仏像浮彫が伝わったことで知られます。当館ではそのうちの15点を所蔵していますが、いずれも長安3年(703)ごろ、女帝則天武后に関わる人物が光宅寺の塔に嵌めるため造らせたものです。写実的でインド風の表現は共通しますが、表情や衣の表し方には違いがあり、制作には複数の工房が関与したと考えられます。特別展「京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ」(↓2ページ)にも複数の工房で制作された群像を展示していますが、中国でも事情は同じようです。作品ごとの表現の違いを、ぜひ見比べてください。(西木政統)

東洋館

シルクロードからの将来品

二菩薩立像

10月10日(水)～11月4日(日)

3室 西域の美術



二菩薩立像 中国・敦煌莫高窟藏經洞
ペリオ探検隊将来品
五代十国～北宋時代・10世紀 キメ美術館交換品
上辺には絹(わな)とよばれる製作当初の掛け紐が残っています

敦煌莫高窟は、砂漠の大画廊と称されるほどの規模を誇るシルクロードの石窟寺院です。今から約1200年前に、ここから大量の文書や美術品が発見されました。その知らせを聞きつけたフランスの探検家ペリオは、莫高窟を訪れると、多数の敦煌文書を手に入れました。本作品もペリオによる収集品の一つで、後にギメ東洋美術館の所蔵となり、やがて博物館どうしの交換品として当館にもたらされたものです。二菩薩の下には、男女の供養者各3人と空白のまま残された銘文を書く欄および短冊型があります。遺族からの追善供養のための注文を見越して、工房が前もって製作していたことをうかがわれます。(勝木言一郎)

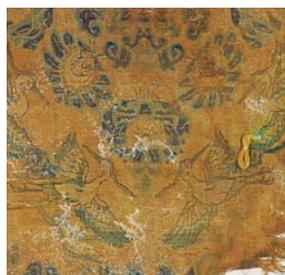
東洋館

唐時代の織物を復興したい!

「遼代の染織」

10月2日(火)～12月16日(日)

5室 中国の染織



袍裂 白地双鶴雲文様錦
中国 遼時代・10世紀
かつては貴族の衣装だったと考えられる錦の裂です

中国・遼(916～1125)の染織の魅力は、唐時代の織物を復興させようとする試みにあります。たしかに、鶴の輪郭線や青の濃淡によるグラデーシオンもすべて織りで表した遼の錦には、高度な技術がうかがえます。一方、唐時代には、繊細で複雑な文様を織り出すには、それぞれが別の働きをする経糸による2重の組織を用いて錦を織り出していました。ところが、遼時代には一方の経糸しか働かなくなり、唐時代のように細やかな色使いによる華やかな文様が織られることはなくなっていました。技術は必ずしも進歩するばかりではないことを、遼の錦は物語っています。(小山弓弦葉)

東洋館

時計付きの豪華な孫の手

如意形時計

11月25日(日)

9室 清時代の工芸



如意形時計
中国 清時代・19世紀
広田松繫氏寄贈
キラキラ輝く如意的中央部に時計があります

如意は、片方の先端を手の指先を折り曲げたような形に作った棒状のもので、もともとは背中を搔くための道具でした。手の届かない場所に手が届くということから「意の如し(思いのまま)」という名称となったのでした。のちには本来の用途には使わず、吉祥的な意味をもつ鑑賞品となり、実用性を離れた装飾的な造形となりました。本作品は清時代の如意です。銅製の器体に色ガラス・真珠・エナメル絵などの装飾を施しており、中央部には時計が取り付けられています。時計とエナメル絵はヨーロッパ製です。清時代に広東を通じて行われていた東西交流の歴史がうかがえます。(猪熊兼樹)

総合文化展 **Pick up!**



木偶
徳島県徳島市 庄遺跡出土
弥生時代(中期)・前2~前1世紀
徳島市立考古資料館蔵
顔のみが写実的であり、体は別作りで
組み合わせていたようです



彩文壺形土器
愛媛県松山市 大淵遺跡出土
縄文時代(晩期)・
前1000~前400年
愛媛・松山市考古館蔵
なすびの「へた」のような肩の模
様は意図してつけられています

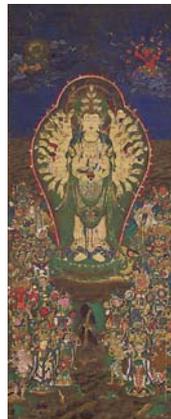
写真提供：松山市考古館

今年度の相互貸借事業では、愛媛県松山市と徳島県徳島市から、縄文時代晩期〜飛鳥時代にかけての考古資料をお借りします。
展示では、まず、稲作伝来以降、儀礼の道具が従来の土偶や石棒から銅鐸や木偶などへ替わる様をご覧いただきます。続く古墳時代は、中央政権や海外との関係性を示す鏡や陶質土器を、古代は律令制の進展、仏教文化の広まりを示す瓦や土器を展示し、考古学からみた四国をご紹介します。(山本亮)

平成館
特集 「松山・徳島の考古学」
11月6日(火)〜12月25日(火)
企画展示室

縄文時代晩期〜飛鳥時代まで、考古学からみた四国

今回展示する仏画群は、もと6曲1双の屏風に写経の断簡とともに張り込まれていたものです。画像と経文は内容的に関連するものではなく、一種装飾的な意匠として貼られていたようです。これらの仏画の制作年代は鎌倉時代から江戸時代まで様々であり、主題も聖徳太子を描いたものから来迎図や明王像など様々です。
なかでも注目が千手観音二十八部衆像。波立つ海原を背景に、中央に千手観音の立像、その左右に各14体ずつの二十八部衆を描いています。緻密な描写と鮮やかな彩色が美しい中世の千手観音画像の優品の一つです。
(沖松健次郎)



千手観音二十八部衆像
鎌倉~南北朝時代 14世紀
画面上部の風神、雷神も含めて「二十八」とする構成がとられています

10月2日(火)〜10月28日(日)
第6室
「法隆寺伝来の仏画群」

法隆寺宝物館
屏風に張り込まれていた中世の千手観音像の優品に注目



「昔語り」下絵(構図Ⅱ)
黒田清輝筆
明治29年(1896)
身ぶりを交えて昔語りをする僧は京都・清閑寺の岩佐恩順がモデル。とても話の上手いお坊さんだったそうです

明治26年にフランス留学から帰国した黒田清輝は、大作「昔語り」の制作に取り組みます。5年の歳月を経て完成した「昔語り」は横幅3mを超える超大作でしたが、惜しくも第二次世界大戦の戦火で失われてしまいました。本作品は「昔語り」の下絵として描かれたものの一つで、色使いも含めた全図の様子を今に伝えていきます。「平家物語」に登場する高倉天皇と小督の悲恋物語を語る僧と、その話に聞き入る人々を題材としています。そこにはフランスで学んだアカデミックな群像表現を日本に根付かせようとする、黒田の使命感がうかがえます。
(東京文化財研究所・塩谷純)

11月25日(日)
黒田記念室
「昔語り」下絵(構図Ⅱ)

黒田記念館
戦災で焼失した原作を偲ぶ

1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報 49

染織品を展示するための処置

染織品は実際に使用されていた衣服や日用品が多いため、穴や擦り切れなど損傷が多く見られます。大きな平面状の染織品の場合は、吊るす際、一部分だけに負担

がかからないように、作品の裏側に筒状の布を縫付けて棒を通して展示するようにしています。その部分に損傷がある場合は、安全なところまで巻き付けられる筒を使用したり、縫付け自体が負担になるときは、磁石を使用して壁面に固定することもあります。作品を安全に展示するため、個々の作品の状態を把握し、その分野と保存修復の担当研究員が相談して、さまざまな処置のなかから最適な方法を決定しています。(桜井彩)



作品の裏側上部に筒状の布を手縫いで取り付け、筒に棒を通して展示します

11月 展示案内

- 4
- 3-3
- 3-2
- 3-1
- 2

- 1-1: 日本美術のあけぼの一縄文・弥生・古墳
- 1-2: 仏教の興隆—飛鳥・奈良
- 2: 国宝室
- 3-1: 仏教の美術—平安～室町
- 3-2: 宮廷の美術—平安～室町
- 3-3: 禅と水墨画—鎌倉～室町
- 4: 茶の美術
- 5-6: 武士の装い—平安～江戸
- 7: 屏風と襖絵—安土桃山・江戸
- 8-1: 暮らしの調度—安土桃山・江戸
- 8-2: 書画の展開—安土桃山・江戸
- 9: 能と歌舞伎
- 10: 浮世絵と衣装—江戸

- 11: 彫刻
- 12: 漆工
- 13-1: 金工
- 13-2: 刀剣
- 13-3: 陶磁
- 14: 特集
- 15: 歴史の記録
- 16: アイヌと琉球
- (17: 保存と修理)
- 18: 近代の美術



-10/28@ 3-2

◎**為家本時代不同歌合絵** 鎌倉時代・14世紀

時代を超えて、新旧歌人の和歌と肖像が一堂に会する白描の歌仙絵

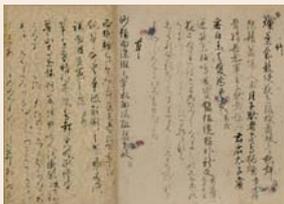


(部分)

10/30@-12/9@

◎**和漢朗詠集 巻下(益田本)**

平安時代・11世紀
→7ページ



(部分)



(部分)

-10/28@ 3-3

◎**文殊菩薩像**

雲彩筆 龍崗真圭賛
室町時代・15世紀



(部分)

10/30@-12/9@

◎**四季花鳥図屏風**

狩野元信筆
室町時代・16世紀 個人蔵
狩野永徳の祖父、元信の代表作。
鳥の暮らす平和な楽園のようです

本館 2F: 1~10

-12/9@ 1-1

◎**埴輪 轡を担ぐ男子**

群馬県伊勢崎市下触出土
古墳時代・6世紀
農民の代表か、古墳づくりを指揮した人とみられる埴輪です



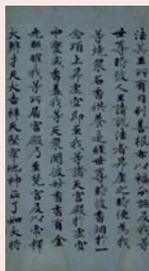
◎**袈裟褌文銅鐻**

和歌山県日高町前木字向山出土
弥生時代(後期)・1~3世紀

-10/28@ 1-2

◎**藍紙光明最勝王經断簡**

伝聖武天皇筆
奈良時代・8世紀



-12/9@

◎**金銅鉢**

奈良時代・8世紀
仏に捧げる供物を入れた鉢。銅を叩いて作り金メッキしています

10/2@-10/28@ 2

◎**虚空蔵菩薩像**

平安時代・12世紀
銀鍍金の美しい平安仏画の名品です



10/30@-11/25@

◎**宝簡集 巻第二**

平安～南北朝時代・12~14世紀
和歌山・金剛峯寺蔵



(部分)



-10/28@ 7

◎**秋草図屏風**

依屋宗雪筆
江戸時代・17世紀
依屋宗達の後継者・宗雪が描く、華やかに咲き乱れる秋の草花

(部分)

10/30@-12/9@

◎**山水人物図襖**

呉春筆
江戸時代・18世紀
植松嘉代子氏寄贈
京都の画家呉春の大作。自然を楽しむ文人たちが描かれています



-10/14@ 8-1

◎**楓晴絵文庫**

原羊遊齋作 江戸時代・19世紀



10/16@-12/9@

◎**群鶴晴絵硯箱**

江戸時代・18世紀 松永安左工門氏寄贈
大胆な構図と鉛板の使い方が、当時人気の光琳風です

-12/9@ 4

◎**紅安南唐草文茶碗**

ベトナム 16世紀
岡野繁蔵旧蔵
ベトナムで生まれ、素朴な風情が日本の茶人に珍重された「紅安南」の茶碗



◎**交趾石榴香合**

中国・漳州窯 明時代・17世紀
広田松繁氏寄贈

5-6

10/2@-12/9@

◎**櫻烏糸肩赤威胴丸**

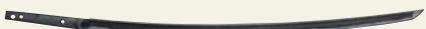
室町時代・15世紀
陸奥三春藩主秋田家伝来
秋田一季氏寄贈



10/10@-12/9@

◎**太刀(銘 貞真)**

鎌倉時代・13世紀 (財)雲州三谷家明徳会寄贈



◎**梨地笹龍膽車紋晴絵糸巻太刀(太刀 銘 貞真の拵)**

江戸時代・17~18世紀 (財)雲州三谷家明徳会寄贈



肥後久留米藩の有馬家に伝来し、刀身は備前福岡一文字派の刀工、貞真の作です

-10/28@ 3-1

◎**兜率天曼荼羅図**

南北朝時代・貞和4年(1348)頃



10/30@-12/9@

◎**諸尊集会図**

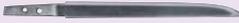
鎌倉時代・14世紀
釈迦三尊十六善神像など複数の群像とともに多くの人物像を描く珍しい作品



10月
本館展

-11/25 13-2

●**短刀(銘 国光)** 鎌倉時代・14世紀 邊渡誠一郎氏寄贈
「沸(にえ)」という輝く粒子による直線的な刃文には落ち着いた美しさがあります



●**太刀 長船景光(号 小龍景光)**
鎌倉時代・元亨2年(1322)



10/2 ●**色絵応龍文陶板** 13-3
伊万里(柿右衛門様式) 江戸時代・17世紀



●**織部獅子鈕香炉**
美濃 江戸時代・慶長17年(1612)
慶長17年(1612)の銘を持つ織部焼の貴重な作例。どっしりと座る獅子が目を引きま



10/2 ●**火取** 14
江戸時代・19世紀



●**汨环**
江戸時代・19世紀
火取は香を焚く道具、汨环は髪を梳く水を入れる容器です
→7ページ



-10/28 15

●**日光道中分間延絵図**
江戸時代・文化3年(1806)
(千住部分)



10/30 ●**九州沿海図(大図) 第九**
江戸時代・19世紀
九州6か国を収めた、縮尺36000分の1の伊能図です



-10/28 16

●**機籠**
北海道アイヌ 19世紀
アトウシ布を織るための、織り機の道具です



10/30 ●**盆**
北海道アイヌ 19世紀
ウイーン万国博覧会事務局引継



-10/28 18

●**竹取物語**
前田青柳筆 明治44年(1911)
青柳は古典絵画にならいつつ、躍動する人物たちを描き出しました



(部分)

●**白狐** 下村観山筆 大正3年(1914) (右隻)



10 浮世絵



(部分)

10/23 ●**歌舞伎図屏風(右隻)**
菱川師宣筆 江戸時代・17世紀
元禄歌舞伎の華やかさを生き生きと伝える6曲1双屏風の右隻を展示



●**三代目沢村宗十郎の大岸蔵人**
東洲斎写楽筆 江戸時代・寛政6年(1794)



10 衣装

-10/14 ●**振袖 白縮子地 大菊小花模様**
江戸時代・17世紀



10/16 ●**小袖 黒縮子地波鷺鷥模様**
江戸時代・17世紀
大胆に狐を描く網干模様は、波のようにも筒のようにも見え、遊び心満点



本館 1F: 11~16, 18

-10/21 11

●**地藏菩薩立像**
鎌倉時代・13世紀



10/23 ●**阿弥陀如来立像**
永仙作 鎌倉時代・正嘉3年(1259)
安田善次郎氏寄贈
彫刻用の木材に京都東山の木を用いたことがわかる非常に珍しい作例



10/2 ●**俱利伽羅龍時絵経箱** 12
平安時代・12世紀 奈良・当麻寺寺院蔵
時絵で俱利伽羅龍王、矜羯羅と制吒迦の二童子が描かれています



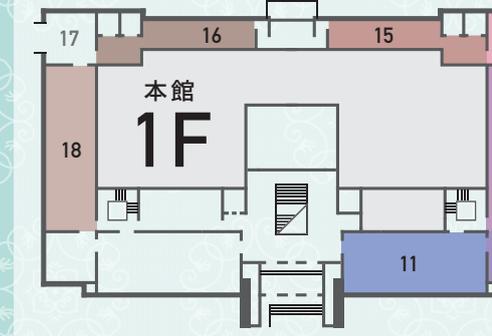
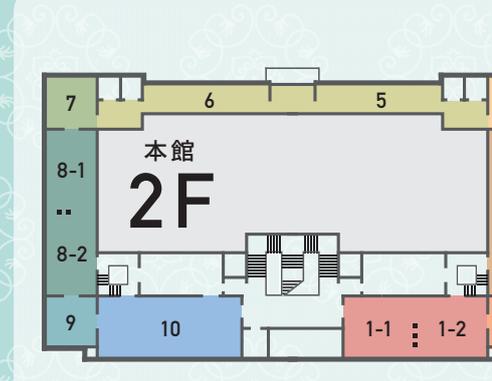
●**桐蒔絵手箱及び内容品**
南北朝時代・明德元年(1390)奉納
和歌山・熊野速玉大社蔵



10/2 ●**金銅聖観音懸仏** 13-1
鎌倉時代・建治元年(1275)
懸仏は銅製の仏像を円盤に取り付けたもの。懸けて礼拝しました

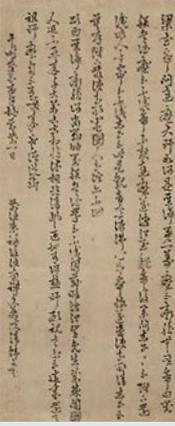


●**金銅火焰宝珠形舍利容器**
鎌倉時代・13~14世紀

-10/28 8-2

●**達磨大師頌**
清韓文英筆 江戸時代・慶長11年(1606)
江戸前期に京都で活動した禅僧の書。禅語録『碧巖録』の一節



10/30 ●**虫身帖 冬**
増山雪斎筆 江戸時代・19世紀
伊勢国長島藩主 増山雪斎が、生物を徹底的に写生して描いた画帖



(部分)

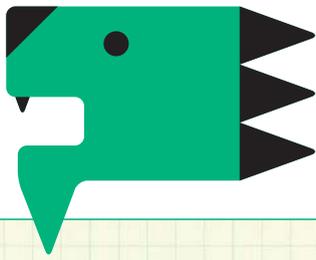
-10/14 9

●**唐織 淡茶紅緑段霞菊地紙模様**
奈良・金春家伝来 江戸時代・18世紀



10/16 ●**小忌衣 浅葱天鷲絨地菊水模様**
坂東三津江所用 江戸時代・19世紀 高木キヨウ氏寄贈
武将や貴人の役が部屋着として着用する小忌衣は、洋服のような立ち衿が個性的!





みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

教育普及事業

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

講演会

月例講演会「建国千百年 高麗の考古と美術」

日時：10月20日(土) 13:30~15:00
講師：白井克也(九州国立博物館学芸部企画課長)
当館所蔵の青磁、銅鏡、石棺などを中心に、高麗王朝の500年間を旅します。

月例講演会「宮廷の年中行事」

*関連展示：本誌7ページ(特集 京都御所飛香舎(藤壺)の調度)
日時：11月24日(土) 13:30~15:00
講師：猪熊兼樹(特別展室主任研究員)
当館所蔵の「旧儀式図画帖」や京都御所伝来の調度などを通じて、江戸時代末期の京都御所で行われていた年中行事の様相をたどります。

*会場は平成館大講堂、定員380名、聴講無料(ただし当日の入館料が必要)
*開場は開始の30分前

ギャラリートーク

叡尊と中世律宗

日時：10月2日(火) 14:00~14:30 本館3室
講師：瀬谷愛(保存修復室主任研究員)
東京・室泉寺所蔵の重要文化財「興正菩薩(叡尊)像」を手がかりに、鎌倉時代を中心とした律宗の活動についてお話しします。

資料・情報の探し方について

日時：10月30日(火) 14:00~14:30
本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
講師：住広昭子(情報資料室員)
資料館での図書・画像資料の収集と公開の歩みをたどりながら、資料館の利用方法、資料・情報の探し方についてご紹介いたします。

考古作品を集めた人々

日時：11月6日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室
講師：飯田茂雄(考古室アソシエイトフェロー)
考古展示室には、コレクターが収集した作品が数多く展示されています。作品の収集に情熱をかけた人々、エピソードとともにその魅力をご紹介します。

齊白石作品鑑賞入門

*関連展示：本誌6ページ
日時：11月9日(金) 14:00~14:30 東洋館8室
講師：呉孟晋(京都国立博物館学芸部列品管理室主任研究員)
日本でいえば、気宇社大な横山大観から、小さきものへ愛情を注いだ熊谷守一までのキャラクターを兼ね備えた中国の巨匠です。現代中国に安らぎを与える齊白石作品の魅力を紹介いたします。

写真とアルバムから見る博物館草創期の活動

日時：11月13日(火) 14:00~14:30
本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
講師：遠藤楽子(百五十年史編纂室主任研究員)
東京大学史料編纂所との共同研究成果を織り交ぜながら、150年前の博物館の活動を探ります。

トーハクボランティアで生きがいを見つけよう

日時：11月20日(火) 14:00~14:30
本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
講師：鈴木みどり(ボランティア室長)
トーハクボランティアになると、こんなやりがいや生きがいが見つかるかも？ボランティアデーを前に、活動内容について紹介します。

国宝・江田船山古墳出土品からみた対外交流

日時：11月27日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室
講師：河野正訓(考古室研究員)
古墳時代の地域首長が、百済や大伽耶諸国と幅広く対外交流していた姿を、出土品を通して解説します。

ART
2

五感を使った美術体験

ワークショップ・ツアー

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ワークショップ

「屏風体験！」

かつては部屋の中で実際に使われていた屏風。どのように使われていたのか、当館自慢のお茶室で体験してみましょう。キヤノン株式会社と京都文化協会が推進する「綴プロジェクト」で作られた高精細複製品を使い、屏風や日本の伝統文化を身近に感じていただくワークショップです。
日時：11月3日(土・祝) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00
会場：本館展示室および応挙館
対象：①小学生~中学生およびその保護者
②高校生以上(1回の入力で2名まで申込可)
定員：①10組 ②20名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)
主催：東京国立博物館、キヤノン株式会社
申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申込みください。
申込締切：10月18日(木) 必着
お問合せ：TEL 03-3822-1111(代)
教育普及室



展示室ではなく部屋に置いた屏風はどのように見えるでしょうか？



どんな使い方をしていたのか、もっと知りたいほー

*事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。
実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先にお電話でお問合せください。TEL:03-3822-1111(代)
*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。
*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。
*📍は「ヒアリンググループ」対応、🗨️は「UDトーク」対応のイベントです。

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ

ボランティアデー特別企画 勾玉作り体験

通常子どもたちを対象に実施している定番プログラム「勾玉作り」を、大人の方に短縮バージョンで体験していただきます。

日時：12月2日(日) 12:00~13:00

会場：本館地下 みどりのライオン (教育普及スペース)

対象：高校生以上

定員：20名 (応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料 (ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に (1)参加者全員 (2名まで) の氏名・ふりがな、(2)参加者全員の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号を、また「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

申込締切：11月5日(月) 必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 ボランティア室「ボランティアデー勾玉作り体験」係

お問合せ：TEL03-3822-1111(代) ボランティア室

東博ボランティアデー 2018

トーハクでの時間を、お客様に「より楽しく」「より快適に」過ごしていただくために、当館では約150名のボランティアが活動しています。12月1日(土)・2日(日)の「東博ボランティアデー」では、2日間にわたりボランティアによるさまざまな催しを行います。博物館のボランティアに興味がある方はぜひご参加ください。2日間のスケジュールは以下のとおりです。



◆ボランティア活動紹介ツアー

現役ボランティアが活動現場をめぐり、ご案内します。トーハクのボランティア活動に興味がある方は、やりがいなども直接ボランティアに聞けるチャンスです。

時間：10:30~11:30、13:30~14:30、15:00~16:00 (随時受付、ツアー時間は30分程度)

受付：本館地下 みどりのライオン (教育普及スペース)

◆ボランティア募集説明会

ボランティアに応募をお考えの方に、当館ボランティアの趣旨と概要、応募方法について職員が説明します (応募に際し、参加必須ではありません)。お気軽にご参加ください。

時間：10:00~10:30、13:00~13:30、14:30~15:00、16:30~17:00 (すべて同内容)

会場：本館地下 みどりのライオン (教育普及スペース)

◆ボランティアによるガイドツアー

12月1日(土)：たてもの散歩ツアー、英語ガイド、樹木ツアー、庭園茶室ツアー、刀剣・武士の装いツアー、東洋館ツアー、彫刻ガイド、陶磁ガイド、本館ハイライトツアー、考古展示室ガイド、法隆寺宝物館ガイド

12月2日(日)：浮世絵ガイド、たてもの散歩ツアー、お茶会、本館ハイライトツアー、アートスタジオ、近代の美術ガイド、東洋館ツアー、英語ガイド、考古展示室ガイド、彫刻ガイド、法隆寺宝物館ガイド

※ガイドツアーの集合場所、時間などの詳細は本誌次号カレンダー (16ページ)、チラシ、当館ウェブサイト、当日の館内案内をご覧ください。

※ボランティアデーの催しは、お茶会を除いて参加無料。ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要。

※お茶会 (各回先着15名)、庭園茶室ツアー (先着18名) は当日9:30から、本館1階エントランスで整理券を配布。

※12月2日のアートスタジオは事前申込制。申込方法は、上記「ボランティアデー特別企画 勾玉作り体験」をご覧ください。

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代) ボランティア室

平成31年度ボランティア募集のお知らせ

平成31年(2019)4月から3年間の任期で活動するボランティアを約50名募集します。東博ボランティアデーでは、募集説明会を行いますので、お気軽にご参加ください (高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)。応募受付は、12月10日(月)~2019年1月10日(木)です。あなたもトーハクでボランティアをしてみませんか? 詳細は、当館ウェブサイトでご案内します。

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代) ボランティア室



イベントに行ってくるほ!

トーハクくんとユリノキちゃんは今秋イベントに出張します。

「世界キャラクターサミット in 羽生 2018」

国内外のご当地キャラクター 200体以上が埼玉県羽生市に集まる日本最大のキャラクターイベントです。

- 今年も羽生のイベントに登場するほー。
- 11月24日(土)、25日(日)で開催されます。2日間のうち、私たちは24日(土)に登場するの。出張ワークショップも行うのよ。
- 楽しみたいほー。
- 今年はお客様と触れ合う時間がたっぷりあるから、トーハクくんいっしょに頑張ろうね!
- もちろんだほ! みんなよかつたら来てほー!



キャラクター大集合!



日時：11月24日(土)、25日(日) 9:00~15:00
会場：埼玉県・羽生水郷公園 (予定)
内容：PRステージやグルメエリアなど (予定)

「群馬古墳フェスタ 2018」

東日本最大の古墳大国であった群馬県を再認識してもらうため、同県藤岡市で開催するイベントです。

- このイベント、ほくだけ行ってくるほ。
- えっ、どうして。
- はにわの人気投票「群馬HANI-1グランプリ」の結果発表が行われるから、誘われたんだほ。人気投票にはトーハクの「埴輪掛甲の武人」もエントリーされているほ。
- トーハクくん以外のはにわのキャラクターも集合するの?
- そうだほー!
- しっかり、トーハクのことアピールしてきてね。



昨年度の様子。古墳の見学もできます。

日時：10月14日(日) 10:00~15:00 会場：群馬県・藤岡歴史館および白石古墳群
内容：埴輪ゆるキャラ大集合、専門家の解説付き古墳等巡り、熱気球等の各種歴史体験、古墳関係グルメブースなど

Music Program TOKYO まちなかコンサート ～芸術の秋、音楽さんぽ～

都内の文化施設と連携した新進演奏家によるコンサート
「Music Program TOKYO まちなかコンサート」を今年も開催します！
日時：10月19日(金) 17:00～、18:00～(各回20分公演)
場所：本館大階段
出演：福田 俊一郎(ヴァイオリン)、山本周(ヴィオラ)、黒川 実咲(チェロ)
参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要)
主催：東京都/東京文化会館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京
都歴史文化財団)
お問合せ：東京文化会館事業係 03-3828-2111 *土・日曜、祝日は除く

NOTES: composing resonance - INVISIBLE -

インドネシアと日本の若いアーティストによる国際共同制作プロジェクト。
音楽にこめられた各人の祈りを目に見えぬ音の響きにのせてお届けします。
日時：10月26日(金) 16:00～、18:00～(各回20分公演)
場所：本館エントランス
出演：會田瑞樹(打楽器奏者)、金子展寛(箏曲家)、ウェリー・ヘンドラモ
コ(作曲家・伝統楽器演奏家)、アリエフ・ウィナンダ(作曲家・打楽器
奏者)、ガルティカ・ギギー・ブラディプタ(作曲家・ピアニスト)、スリッ
ワヒューニンセ(歌手)、落合一磨(語り)
参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要)
主催：国際交流基金アジアセンター 共催：東京国立博物館
お問合せ：国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025

創エネ・あかりパーク® 2018 開催に伴う特別夜間開館

光のイベント「創エネ・あかりパーク® 2018」が、今年も上野公園を会場に開催
されます。当館でも夜間開館し、本館への特別プロジェクトを10月31日
(水)～11月3日(土・祝)に実施します。展示とあわせてお楽しみください。
夜間開館：10月31日(水)～11月3日(土・祝) 21:00まで開館(入館は20:30まで)
主催：「創エネ・あかりパーク 2018」実行委員会 <http://www.akaripark.com>

東京国立博物館賛助会のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、文化財の
購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の
充実に、幅広くご支援をいただいております。

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
株式会社 毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞東京本社 様
三菱商事株式会社 様

個人

プレミアム会員
上久保のり子 様
岩間良孝 様
井茂圭洞 様
高木千鶴子 様
特別会員
永久幸範 様
辻泰二 様
谷川紀彦 様
佐久間基晴 様
井田悦郎 様
大山孝一 様
田中三伊 様
田中御津子 様
増山育男 様
維持会員
伊藤匠彦 様
飯内匠彦 様
服部悦子 様
岩沢重美 様
高田朝子 様
齋藤京子 様
齋藤裕太郎 様
和田喜美子 様
藤原悦男 様
中川俊光 様
関谷徳衛 様
高橋守 様
小澤桂一 様
永田実香 様
西岡康宏 様
友景紀子 様
東野治之 様
木村剛 様
観世あすか 様
星望由尚 様
渡辺章 様
稲垣哲行 様
飯岡雄一 様
高瀬正樹 様
寺浦信之 様
高木美華子 様
吉原知良 様
古屋光夫 様
根田穂美子 様
池嶋洋次 様
是常博 様
上野孝一 様
山田泰子 様
柴田隆子 様
網村古代 様
白井生三 様
津久井秀郎 様
杉田純一 様
神通豊 様
神通豊一 様
石川公子 様
凸版印刷株式会社 様
公益財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷コミュニケーション株式会社 様
日本ロックス株式会社 様
サロン・ド・ネット 様
TABIZURU FOUNDATION 様
株式会社 みずほ銀行 様
一般財団法人 東京国立博物館協力会 様
株式会社 東京書芸館 様

◎年会費

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効

〈団体〉プレミアム会員 1000万円以上
特別会員 100万円/維持会員 20万円
〈個人〉プレミアム会員 100万円以上
特別会員 20万円/維持会員 5万円

東京国立博物館賛助会員 2018年7月30日現在

維持会員 団体

株式会社 三冷社 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
日本運通株式会社 美術事業部 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術数本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様

有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットイニシアティブ 様
株式会社 小西美術工芸社 様
有限会社 キャラリー-竹柳堂 様
株式会社 育伸社 様
株式会社 モリサワ 様
アミ開発有限会社 名古屋支店 様
光村図書出版株式会社 様
株式会社 資生堂 様
株式会社 グラスハウバーン-ジャパン 様
株式会社 デュナミス 様
キョーマン株式会社 様
公益財団法人 創玄書道会 様

◎主な特典

特別展内覧会へのご招待 など

◎申込方法

当館窓口、当館ウェブサイト(クレジット決済)、
銀行振込
お問合せ 電話 03-3822-1111(代) 総務課賛助会担当

休館・閉室情報

2018年12月10日(月)～2019年1月1日(火・祝)まで、本館2階「日本美術の流れ」は展示環境改善のため閉室いたします。

秋の庭園開放

本館北側の庭園を期間限定で開放します。庭園に点在する茶室もご覧いただけます(茶室内部は非公開)。

日時：10月23日(火)～12月2日(日) 10:00～16:00
庭園入口：レストランゆりの木脇、または平成館と本館の間
料金：入館料のみでご覧いただけます

*お茶室貸出利用時はお茶室を間近でご覧いただけません場合があります。

*悪天候により中止になる場合があります。庭園開放中止の場合は、正門の掲示にてお知らせします。

10月13日(土)は「留学生の日」

日本の学校に所属する留学生、ALT(外国語指導助手)および、その同行者は総合文化展が無料となります。ボランティアによる各種ガイドツアーなど、さまざまなイベントも実施されます。お問い合わせのうえ、ぜひご来館ください。

〈イベントスケジュール〉

- 「日本美術の流れ」英語ガイド(本館2F) 11:00～12:00、15:00～16:00
- 各種ガイドツアー 詳細はウェブサイトをご確認ください。
- 留学生のためのお茶会(応挙館) ①11:00～12:00 ②13:00～14:00
定員：各回15名
参加方法：①②とも9:30より本館前受付にて整理券配布 参加費：500円
- 留学生のためのお茶体験(九条館) ③10:30 ④11:30 ⑤12:30 ⑥13:30
(各回20分程度) 定員：各回40名(入替制)
参加方法：③～⑥ともに直接会場受付(先着順) 参加費：300円
指導：裏千家 前田宗寿氏
- ギャラリートーク「日本絵画入門」(本館7・8室) 14:00～14:30
講師：ミウォッシュ・ヴォズニ(国際交流室専門職)



ロシアを思う、今夏

サッカーの大会が熱を帯びているころ。私は展覧会の準備で熱くなっていました。9月4日からモスクワのプーシキン美術館で開催された「江戸絵画名品展」の準備をしていたのです。サッカーは、時差の関係で遅い時間の放映。家に帰り、さて一息、テレビでもと思う頃に、気になってメールを開くと、仕事のメールが行き交うという始末です。作品の制作時期確定の説明など四苦八苦。モスクワの涼しさを期待しながら、暑い夏を青息吐息で過ごしていました。パーティーは野外で行われ、涼しいオープニングになりました。(田沢裕賢)



無事に開幕しました。熱心にご覧いただいています！

特別展「顔真卿 王羲之を超えた名筆」チケットプレゼント またはトーハクくんから年賀状が届きます

特別展「顔真卿 王羲之を超えた名筆」(2019年1月16日(水)～2月24日(日)→2ページ)無料観覧券(5組10名様)をプレゼントします。または2019年のお正月にトーハクくんから年賀状(10名様)が届きます。締切は12月10日(月)必着。



*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 広報室「ニュース10-11月号」プレゼント係

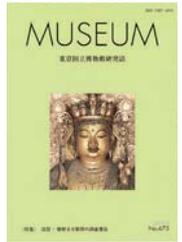
「MUSEUM」675号(2018年8月15日発行)の掲載論文

《特集》滋賀・櫛野寺木彫群の調査報告

- ①「滋賀・櫛野寺の沿革と本尊十一面観音菩薩坐像」
西木政統(文化財活用センター企画担当研究員/
当館貸与特別観覧室研究員)
- ②「櫛野寺諸像の樹種(考察編)」
岩佐光晴(成城大学文芸学部教授/当館名誉会員)
- ③「櫛野寺諸像の樹種(資料編)」
能城修一(明治大学黒耀石研究センター客員教授)
藤井智之(元森林総合研究所関西支所長)

お問合せ: 当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版
(TEL:03-5244-5723)

定価: 1,543円(税込)



TNM & TOPPANミュージアムシアター

お客様の投票で再演決定! VR作品「江戸城の天守」

10月3日(水)～12月24日(月・休)

6～7月に実施したリクエスト投票でたくさんのご投票をいただき、再演作品が「江戸城の天守」に決定いたしました!

徳川家光によってつくられた史上最大にして江戸城最後の天守。その巨大な木造建築には当時最高峰の技術が注がれたそうです。明暦の大火で焼失した天守は、いったいどんな姿をし、どのようにつくられたのでしょうか? 図面や絵図、現在も残る文化財等を手掛りに、部材ひとつひとつまで精緻に再現したVRを見ながら、来場者の皆様と歴史考証をお楽しみいただけます。

料金: 一般・大学生・高校生: 500円、小学生・中学生: 300円

未就学児、障がい者とその介護者1名は無料(1作品/1回あたり)

*総合文化展とセット購入で一般: 1,000円/大学生800円

*所要時間は約35分です。鑑賞には当日の予約が必要です。

*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。

*詳細はウェブサイト(<http://www.toppa.jp/mt/>)をご覧ください。



東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

●金・土曜日は21:00まで

●10月31日(水)、11月1日(木)は21:00まで

●いずれの場合も黒田記念館は17:00まで

休館日:

月曜日(祝・休日に当たる場合は開館、翌平日休館)
年末年始
(12月26日(水)～2019年1月1日(火・祝))

●12月25日(火)、2019年3月25日(月)は開館

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金:

一般=620(520)円 大学生=410(310)円

●()内は20名以上の団体料金

●障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料

●トーハク感謝デー(12月23日(日・祝)～25日(火))は、総合文化展は観覧無料

最新情報は、

ウェブサイト、Facebook、Twitter、
Instagram、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト

<https://www.tnm.jp/>

東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効

年会費 8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚配布、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等様々な特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効

年会費 一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚配布します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効

年会費 一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読

年会費 1,000円(6冊分)

【特典】年6回東京国立博物館ニュースをご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申し込みで100円割引。

*次号よりご送付希望の場合、締切は11月10日(土)です。

〇申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申し込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

●振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名: 東京国立博物館会員制度

口座番号: 00140-3-791791

●振込用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

●振替手数料はお客様負担となります。

●ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

*一度収められた料金の払い戻しはいたしません。

*各種イベントのお申込みに際してご提供いただいた個人情報、当該目的のみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

〇お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 総務課会員制度担当

*月曜～金曜日の9:30～17:00(土日・祝休日は除く)

FAX 03-3821-9680

1月	休館日
2火	G「叡尊と中世律宗」14:00 本館3室 11:00 特別展「マルセル・デュシャンと日本美術」特別展「快慶・定慶のみほとけ」
3水	
4木	11:00
5金	夜間開館(21:00まで) 15:00
6土	夜間開館(21:00まで) 【デュシャン】講「デュシャンの本質」13:30 平成館大講堂 11:00 本 14:00
7日	作 13:30 考 14:30
8月・祝	トーハクくん誕生日
9火	休館日 ユリノキちゃん誕生日
10水	14:00
11木	11:00
12金	夜間開館(21:00まで) 【大報恩寺】講「千本釈迦堂・大報恩寺の歴史」13:30 平成館大講堂 14:00
13土	夜間開館(21:00まで) 留学生の日 陶 14:30
14日	近 13:00 浮 14:00 影 15:00
15月	休館日
16火	【デュシャン】講「デュシャンの向こうに日本がみえる。」14:00 平成館大講堂
17水	
18木	英 14:00 影 15:00
19金	夜間開館(21:00まで) 樹 11:00 、「まちなかコンサート」17:00、18:00 本館大階段*1
20土	夜間開館(21:00まで) 講「建国千百年 高麗の考古と美術」13:30 平成館大講堂 11:00 本 14:00 15:00
21日	東 11:00 茶 11:00、13:00 英 14:00 考 14:30
22月	休館日
23火	秋の庭園開放
24水	11:00
25木	本 14:00
26金	夜間開館(21:00まで) 連続講座「日本の仏教美術」13:30 平成館大講堂*2 、「NOTES:composing resonance」16:00、18:00 本館エントランス*1
27土	夜間開館(21:00まで) 連続講座「日本の仏教美術」13:30 平成館大講堂*2 13:30
28日	影 15:00
29月	休館日
30火	G「資料・情報の探し方について」14:00 本館地下教育普及スペース 特別企画「斉白石」
31水	夜間開館(21:00まで)

1木	夜間開館(21:00まで) 東 11:00
2金	夜間開館(21:00まで) 15:00
3土・祝	夜間開館(21:00まで) W「屏風体験!」10:00、14:00 応挙館 11:00 本 14:00
4日	作 13:30 考 14:30
5月	休館日
6火	G「考古作品を集めた人々」14:00 平成館考古展示室 11:00
7水	
8木	11:00
9金	夜間開館(21:00まで) G「斉白石作品鑑賞入門」14:00 東洋館8室 英 14:00
10土	夜間開館(21:00まで) 陶 14:30
11日	近 13:00 浮 14:00 影 15:00
12月	休館日
13火	G「写真とアルバムから見る博物館草創期の活動」14:00 本館地下教育普及スペース
14水	14:00
15木	英 14:00 影 15:00
16金	夜間開館(21:00まで) 樹 11:00
17土	夜間開館(21:00まで) 11:00 本 14:00 15:00
18日	【大報恩寺】講「大報恩寺のみほとけ 運慶次代の仏師と京都」13:30 平成館大講堂 11:00、13:00 英 14:00 考 14:30
19月	休館日
20火	G「トーハクボランティアで生きがいを見つけよう」14:00 本館地下教育普及スペース
21水	
22木	本 14:00
23金・祝	夜間開館(21:00まで)
24土	夜間開館(21:00まで) 講「宮廷の年中行事」13:30 平成館大講堂 13:30
25日	影 15:00
26月	休館日
27火	G「国宝・江田船山古墳出土品からみた対外交流」14:00 平成館考古展示室
28水	11:00
29木	
30金	夜間開館(21:00まで) (12/25まで)(12/2まで)(12/9まで)(12/9まで)

【デュシャン】=特別展「マルセル・デュシャンと日本美術」関連事業。申込は締め切りました
 【大報恩寺】=特別展「京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ」関連事業。10月12日分の申込は締め切りました
 *1=詳細は本誌14ページ *2=事前申込制。申込は締め切りました

講=月例講演会等、詳細は本誌12ページ(特別展関連事業→前号2ページ)

G=ギャラリートーク、詳細は12ページ

W=ワークショップ、詳細は12ページ

🎂=託児サービス実施日(12:30~15:30、8月5日のみ10:00~13:00、14:00~17:00) 事前予約制 有料

作=ボランティアによるアートスタジオ 事前申込制(※10月7日分の申込は締め切りました) 詳細は前号13ページ

本=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合:本館1階エントランス

浮=ボランティアによる浮世絵ガイド、集合:本館1階エントランス

陶=ボランティアによる陶磁ガイド、集合:本館1階エントランス

影=ボランティアによる彫刻ガイド、集合:本館1階エントランス

樹=ボランティアによる樹木ツアー、集合:本館1階エントランス

🎒=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合:平成館考古展示室入口

法=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合:法隆寺宝物館1階エントランス

茶=ボランティアによる応挙館での茶会、集合:本館1階エントランス (9:30から集合場所で整理券配布、参加費500円、各回先着15名)

庭=ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合:本館1階エントランス (9:30から集合場所で整理券配布、先着18名)

英=ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合:本館1階エントランス

近=ボランティアによるたても散歩ツアー、集合:本館1階エントランス

近=ボランティアによる近代の美術ガイド、集合:本館1階エントランス

刀=ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合:本館1階エントランス

東=ボランティアによる東洋館ツアー、集合:東洋館1階エントランス(10月は「仏像の旅」、11月は「東洋館ハイライト」をご案内します)

藝=藝大大学院インターンによるギャラリートーク(※10・11月は休止します)

*屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります